

—登場人物—

〈男〉バルダッサーレ（ママイ家の老羊飼い）のように、
もしくはミティフィオ（牧童頭／アルルの女の恋人）であるかのように
渡邊荀之助——能舞・謡：羊飼いの姿 杖を持つ

〈女〉アルルの女の幻影（フェデリコが窓に落ちた謎の女性）のように
渡邊茂人——能舞・謡：女の姿 若女の面をかける

〈男〉フェデリコ・ママイ（アルルの女に恋焦がれるママイ家の長男）のように
川瀬隆士——能舞・謡：若い男の姿

〈女〉ヴィヴィエッタ（フェデリコに恋する村娘）のように
中村香那——モダンバレエ：若い女

〈第一組曲〉

- I 前奏曲：フェデリコとアルルの女の出会い
- II メヌエット：アルルの女に恋焦がれるフェデリコ
- III アダージェット：ヴィヴィエッタの思いに気付かないフェデリコ
- IV カリヨン：ヴィヴィエッタを愛しく思うも、アルルの女を忘れ得ぬフェデリコ

〈第二組曲〉

- I パストラール：フェデリコを諭すバルダッサーレと思い出の女たち
- II 間奏曲：バルダッサーレの昔話とミティフィオの自慢話のように
- III メヌエット「美しきパースの娘」より：前曲で“男性性”を表したことの対比。
本来の「アルルの女」の劇中曲ではないこの曲を用いての他愛もない少女の夢と、
それが暗示する三角関係の末路。

謡 「玉鬘」よりの一節：恋の妄執の強調とその浄化に向けて。

〈詞章〉

恨みは人をも世をも 恨みは人をも世をも
思い思わじ唯身一つの 報いの罪や数々の浮名に立ちしも懺悔の有様
あるいは湧きかえり 岩もる水の思いに咽び

- IV ファランドール：祝いの舞曲の中、嫉妬に狂い命を絶つフェデリコ
翻って妄執を捨てれば、慶びに溢れた世界が広がるのみ